

# お取引業者様とともに

お取引業者様と積極的にコミュニケーションを取り、情報を共有しながら共存共栄できる取り組みを行っています。また信頼される企業として公正な取引を強化するための仕組みづくりも行っています。

【お取引業者様】各行動計画の実績と評価

主な取り組み		2007年度目標	2007年度結果	評価	2008年度目標	掲載ページ
お取引業者様との共存共栄を目指して	配送時の品質維持	納品時間の厳守95%以上	98.7%	○	納品時間の厳守95%以上	34
	配送時の定期監査	範囲を拡大して実施	計24回の実施	○	継続して実施	34
	環境への取り組み説明	新規お取引業者様に説明を実施	新規お取引先全社(7社)に説明を実施	○	新規お取引業者様に説明を実施	34
	施工者ミーティング開催	3回開催	3回開催	○	3回開催	35
	建設現場の現場安全パトロール実施	建設現場にて現場安全パトロールを実施	3回9店舗で実施	○	建設現場にて現場安全パトロールを実施	35
	物件を提供していただいているお取引業者様との協力	年1回(12月)ヒアリングを実施	367件のお取引業者様を訪問	○	年1回(12月)ヒアリングを実施	35
	有機農業生産者との交流会を開催	年1回交流会(懇親会)を開催	年1回交流会(懇親会)を開催 130名の方々が参加	○	年1回交流会(懇親会)を開催	36
公正な取引の強化	入札説明会開催	新規物件の建設にあたっては入札説明会を開催	説明会を6回開催	○	新規物件の建設にあたっては入札説明会を開催	36
	購買方針の徹底	継続的に使用されている食材を年2回再評価	年2回再評価を実施	○	継続的に使用されている食材を年2回再評価	36

○達成、×未達成、-該当なし

## 「品質向上・原価低減」の文化づくり



ワタミ手づくりマーチャダイジング(株)  
代表取締役 COO  
ワタミ(株)取締役  
常務執行役員 門司 実

2007年度は、「お取引業者様との定例会議を通じた対話」や「納品時間厳守への取り組み」などを通じて、お取引業者様と一体になって、より一層の品質向上に努めてきました。また、ワタミ手づくりマーチャダイジング株式会社が設立され、創業時より、「安全・安心でおいしいものを低価格でお客さまに提供させていただきたい」というワタミの文化や「品質向上・原価低減」というワタミの考え方を推進しやすい体制となりました。

どんな時も品質を優先させ、お取引業者様とパートナーシップを発揮することで生まれる創意工夫により、原価の低減に取り組みたいと考えています。また自社の経費をできる限り抑制することや、お取引業者様から安価に商品を仕入れることで、よりお客さまにお値打ち感のある商品を提供させていただきまます。

これからも、お客さま、従業員、お取引業者様、あらゆるステークホルダーそれぞれのバランスに敏感であり、お互いのメリットを見つけ視野を広げることに努めていきたいと思ひます。

## 新たなパートナーシップを目指して



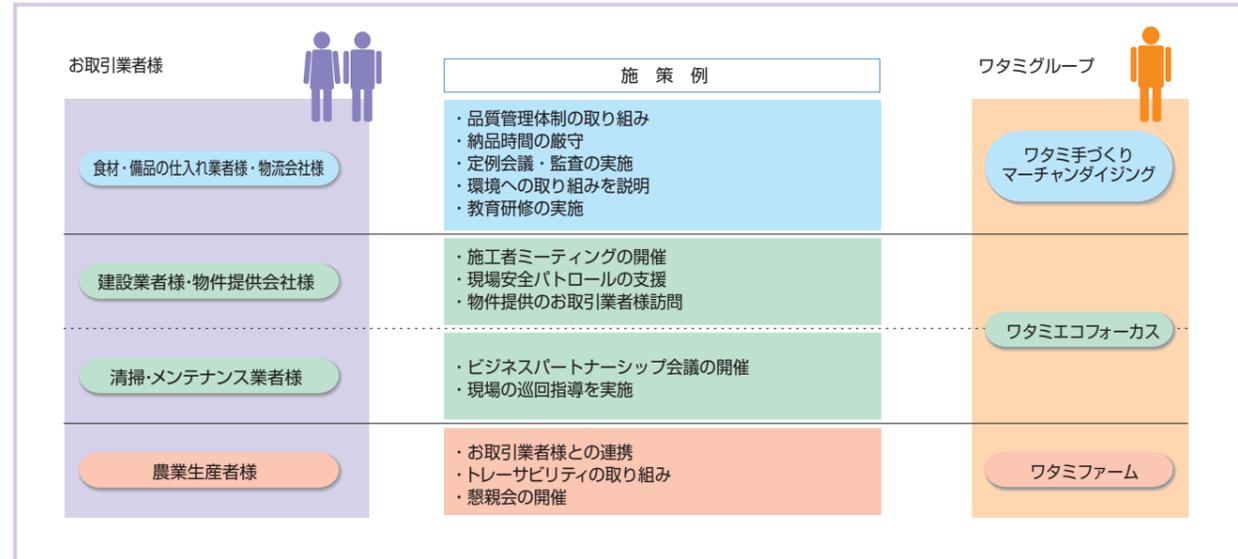
ワタミエコフォーカス(株)  
代表取締役社長  
ワタミ(株)取締役  
常務執行役員 桑原 尚人

2008年4月に新会社ワタミエコフォーカス株式会社が設立され、我々は新たな船出を始めました。この統合により、業務範囲を拡大し、『さまざまな施設の「生む～創る～守る」を一貫して行い、施設の価値を最大限にするとともに地球環境へ貢献する』体制を目指します。

また、付加価値を高め、環境への負荷を軽減していくためには、「大鳳会(42社)」をはじめ、お取引業者様とのパートナーシップを今まで以上に構築していくことが重要だと考えます。ワタミグループ外食店舗の新店・改装工事以外に、介護施設・商業棟ビルなどの様々なジャンルで皆様のご協力をいただき、より安全な工事を実施し、お取引業者様との共存共栄を目指します。

# お取引業者様との共存共栄を目指して

## 各事業におけるお取引業者との協力体制



## ワタミ手づくりマーチャンダイジングでの取り組み

### 品質管理体制

WTMDでは、定期的にお取引業者様を訪問し、製造されている商品が、仕入れ・調理(製造)など、「セクションごとに決められた手順・工程で行われ、一定の品質を確保していること」を確認しています。そのうえで、万が一、異常が発生した場合は、原因を明らかにし、必要に応じてお取引業者様にも書類の提出を求めています。また、発生した異常についてはすべて記録され、再発防止に努めています。

### 定例会議を実施

WTMDでは、埼玉県・神奈川県・兵庫県にある「ワタミ手づくり厨房」ごとに物流体制を整えています。この物流体制に基づいて、物流時の品質管理の向上や環境に対する取り組み状況について情報共有を目的に、毎月、東日本・西日本に分かれお取引業者様と定例会議を実施しています。

商品の納品時間厳守や商品の破損ゼロなどについて意見交換することはもちろん、アイドリングストップなど環境配慮の取り組みについても確認しています。

万が一、物流時に事故などが発生した場合に即時対応するだけでなく、発生した事故情報を共有することで、再発防止に努めています。

また、新規お取引業者様に対しては、環境に対する取り組み内容をご説明し、環境活動への継続的な協力体制を築くことを目的として「リサイクルの推進、騒音対策、大気汚染軽減への取り組み」を骨子とする書面を取り交わしています。

2007年度も、7社のお取引業者様に、ワタミの環境に関する取り組み、協力体制についてご説明させていただきました。



説明会の様子

### 納品時間の厳守

配送においての商品品質を維持することを目的として、納品時間の厳守を目標として活動しています。納品時間を厳守することは、配送と店舗の従業員の連携が密になり、トラックから冷蔵庫(冷凍庫)までの時間も短くでき、温度変化による食材の劣化等を防ぐことにつながります。

2007年4月からは、「納品時間の厳守95%以上」という目標を設定し取り組むことで、活動を強化しました。全国の配送車の店舗(ホーム)到着時間を、各センターごとに集計し、15分以上の早着・15分以上の延着を毎週確認しています。また、業務改革会議を通じて、エリアマネジャーなどから各地域のイベント情報を収集することで、交通渋滞を予測し、回避する取り組みを進めています。

### 配送時の定期監査

2006年度より飲料卸売業者様が中心となり物流会社様と実施している監査制度に協力させていただいています。

監査の内容は、3者で協議し作成した監査シートに基づき、衛生管理や安全運転の実施など49項目を確認するもので、飲料卸売業者様が物流会社様の配送業務に同行し、その内容を確認します。

監査の結果は、その場でフィードバックされ、指摘項目があった場合は改善計画が提出され、さらに3者が集まる「定例会議」で定着確認がなされます。

また、重大な失点が続いた場合には、飲料卸売業者様と一緒にWTMDの担当者が配送車に同乗し、改善状況の確認をしています。

今後も、商品の品質維持やタイミングよくお客さまに提供するため、お取引業者様と協力して、配送時のトラブルの未然防止に取り組んでいきます。

## ワタミエコフォーカスでの取り組み

### 現場安全パトロールの実施

快適な店舗づくりと、施工現場の安全確認をする「現場安全パトロール」が、大鳳会(お取引業者様42社により結成された組織)によって行われています。近隣の方々や通行人の安全対策、作業員の健康状態のチェック、防火対策、危険物管理(塗料の保管)など30項目におよぶ項目を確認することで、建設現場の安全確保に努めています。

この現場安全パトロールは、複数の企業担当者が参加し、様々な視点からチェックをすることで、公正な評価を実現しています。

結果は、大鳳会の役員会に報告され、そこにはワタミエコフォーカスの担当者も参加させていただき、積極的な情報交換を行っています。2007年度は3回9店舗で「現場安全パトロール」を実施しました。

このような活動を自発的、かつ組織的に実施していただけることは、ワタミの理念に賛同していただいている結果と考え、大変ありがたいことだと感謝しています。

### 「大鳳会」の主な活動内容

活動	頻度	内容
総会	年1回	該当年度の実施報告および会計報告 翌年の実施計画及び予算審査 社会貢献活動(寄付金額)の報告
役員会	年6回	活動状況の進捗確認
講演	年1回	事業理念・事業展開の説明(ワタミ(株)社長による講話)



現場安全パトロール

### ビジネスパートナーシップ(BPS)

ワタミエコフォーカスでは、お客さまの施設トラブルを迅速に解決するためには広範囲での業務処理が必要と考えます。そのために協業会社様と積極的に連携する体制として、ISO9001によって管理された継続的な品質維持向上システム「ビジネスパートナーシップ(BPS)」を実施しています。

このBPSは、協業会社様は、単なるお取引先ではなく、共に成長できるパートナーという考えのもとスタートし、ワタミエコフォーカスの審査基準を満たし、責任者の存在する会社様のみがBPSとして登録されます。

定期的に開催されるBPS会議では、前月の評価結果や巡回指導の内容について共有することはもちろん、清掃手順の見直し・標準化についての協議、害虫発生原因など専門分野に関する講義を実施しています。

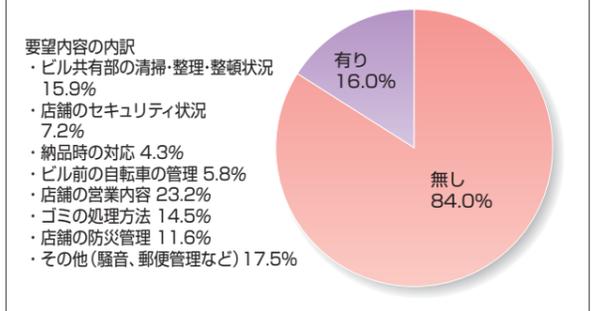
### 物件提供のお取引業者様との協力体制

毎年12月に、ワタミに物件を提供していただいているお取引業者様を訪問し、日頃の感謝をお伝えするとともに積極的にご意見を伺うことに努めています。

ご要望をいただいた場合には即日対応するとともに、対応に時間を有する工事などが必要な案件には、専門部署を通じてその改善に取り組んでいます。

2007年度は367件のお取引業者様を訪問しました。

### 2007年度 お取引業者様ご要望の内訳 (%)



### 施工者ミーティングの実施

店舗やホームの設計基準など品質に関する要求事項や環境に対する取り組みについて共有化していただき、快適な店舗やホームづくりを追求する施工者ミーティングを、2007年度は、店舗に関して2回・介護ホームに関して1回、計3回実施しました。

このミーティングには、内装工事や空調設備工事などの建設工事関連の方々参加し、施工時の問題点や事故情報を共有するとともに、実際に使用される「標準仕様書」(→詳しくはP19)を用いて基準と改善点の確認を実施しています。

このようなコミュニケーションを通じて、お取引業者様との信頼関係を築くことは、工事施工品質の向上にもつながる重要な活動であると考えています。

2007年度は、52社のお取引業者様が参加しました。



BPS会議の様子

## ワタミファームでの取り組み

### 有機農業の振興

ワタミファームでは、安全で安心な農産物をお客さまにお届けすることを目的に、自社農場での取り組みにとどまらず、様々な農家の方々との交流や、ポジティブリスト制度などの法改正に対する説明会を実施しています。

2001年より、日本に有機農業を拡げ、技術的側面の普及や啓発活動を行うことを目的にJOHF（※）が主催する生産者会議に出席しています。この会議では、日本における有機農業の現状について共有するとともに、ワタミグループの人材育成方法やマネジメントシステムの導入について紹介しています。有機野菜を中心とする「安全で安心なおいしい有機農産物」を栽培する農家を支援・共生し、国内農業が根本的に抱える諸問題の解決に貢献したいと考えています。

また、この会議の終了後には、ワタミファームが主催する交流会（懇親会）を開催しています。2007年度は、有機農産物を栽培する方々など130名の方が交流会に参加しました。

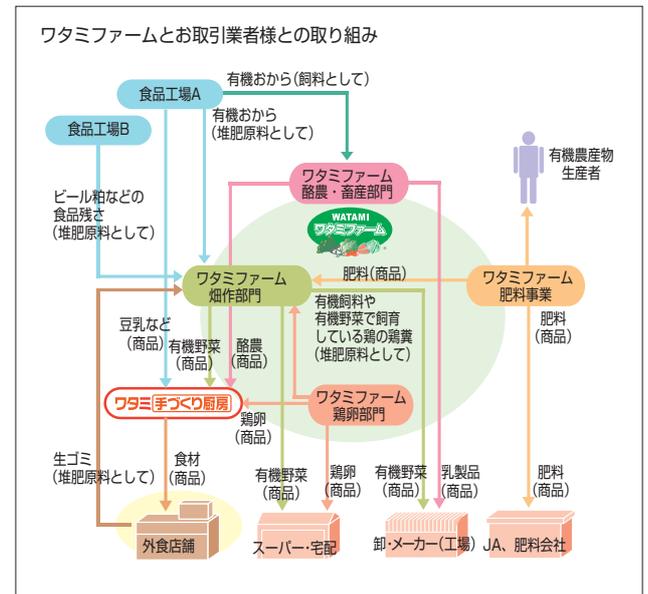


（※）JOHF（Japan Organic Heat Farmers-Food-Family）  
有機農業の普及を目的に設立され、有機生産者および有機への転換意思を持つ生産者約100戸と関係業者で、技術の普及や啓発活動を行う任意団体。

### お取引業者様との取り組み

ワタミファームでは、「環境への配慮、資源の有効活用」をテーマに、お取引業者様と連携した仕入れに取り組みんでいます。具体的には、豆乳の製造時に発生するおから・ビール粕などを、ワタミファームで堆肥や飼料として利用しています。

2007年度は、おから152t、ビール粕487.2tを堆肥（飼料）原料として使用しました。今後もお取引業者様と協力体制を築き、より良い商品をお客さまにお届けすることに努めていきます。



## 公正な取引へ

### 購買方針

WTMDでは、1996年に策定された「購買管理規定」に基づき、購買業務の責任者を明確にするとともに、独自の基準を設定しています。規定では、新規お取引業者様を含め公平で公正な評価を実現するために、継続的に使用されている食材などについては、年2回再評価をすることなどが義務づけられています。

### 公正・公平な取引へ「入札説明会」

ワタミエコフォーカスでは、外食事業における新規店舗の建設業務にあたり、公正・公平で透明性の高い取引の実現を目指し、「入札説明会」を実施しています。

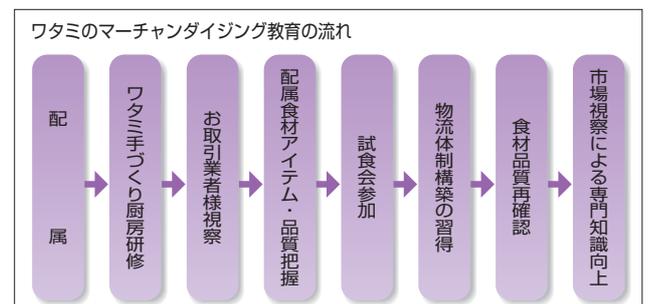
各店舗の「入札説明会」には既存のお取引業者様はもちろん、新規お取引業者様を含め、多くのお取引業者様に参加していただけるようにご案内させていただき、見積記載要綱や建設時の現場管理など入札に必要な事項について説明させていただいています。

### 公正な取引とマーチャндаイジング教育を連動

商品の購買を担当する仕入部では、お客さまに提供する商品の付加価値を高め、お取引業者様との公正な取引を継続するための教育プログラムを導入しています。

食材や備品などの専門知識の習得に加え、ワタミ手づくり厨房での研修や商品を決める試食会への参加など、商品の購買だけではなくマーチャндаイジングの一連の流れを全て理解・把握するプログラムです。

また、新規お取引業者様との契約方法や、お取引業者様との公正な取引を徹底するための考え方などの説明が行われ、その徹底を図っています。



※試食会ではお客さまへ提供する商品の味や価格を決定しています。